

市長への政策提言



令和4年9月28日、曾於市農業委員会は、地域農業振興のため、農業者の声を集約して、農業政策に関する政策提言を市長に提出しました。

1. 鳥獣被害対策の駆除体制の見直しについて

鳥獣被害対策においては、鳥獣被害対策に特化した係の設置や曾於市イノシシ等被害防止事業補助金など、様々な面において対応していただき、農業者として心より感謝いたすところであります。

現在の駆除体制は、狩猟期間内（11/1～3/31）と狩猟期間外（4/1～10/31）での手続きに若干差異はありますが、被害を受けた方から相談があった際は、猟友会を通して駆除していただく流れと伺っています。現在猟友会員は、市全体で177名いらっしゃるようですが、高齢化等により年々減少しているように感じています。

会員の減少と反比例するように、特にイノシシの被害は年々増加傾向にあり、猟友会の会員だけでは、市全体の駆除対応が難しい状況ではないかと感じています。

また農業者の中には、狩猟免許は取得するものの、猟友会に加入する方が少ないと思われれます。

そのため、猟友会に加入せずとも、加害鳥獣を捕獲した場合は、捕獲報奨金が支払えるようにできないか検討していただきたい。

そうすることにより、まずは各個人で地元の農地を鳥獣被害から守ることで、個体数の減少にも繋がり、近隣の耕作者にも喜んでいただけ、農業者全体の耕作意欲の向上に繋がると考えます。

2. 農業公社を活用した人材確保について

本市も人口減少や高齢化が進み、農業に限らず、労働力不足が深刻化してきています。一昔前は、シルバー人材センターを利用し、派遣していただいていたのですが、最近では農業に従事してくださる方が少なく、作業が滞ってしまうケースが発生しています。

大規模農家の方などは、独自で外国人技能実習制度を活用し、何とか労働力を確保して

いるようですが、この制度を利用することが難しい農家は規模拡大をしたくても労働力を確保することができないため、農地の集積・集約化にも影響が出てきています。

そこで、農業公社で外国人技能実習制度を導入していただき、労働力が不足している農家に派遣する事業に取り組んでいただけないでしょうか。

また、公社以外にも農福連携事業へ更なる支援や、公務員の副業の推進及び広報、民間企業が取り組んでいる『おてつたび』などの情報発信も是非検討していただきたい。

※令和4年7月末時点の高齢化率 42.4% 昨年度比 +0.8%

3. 肥料価格高騰対策について

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が急騰していることから、国も時限的ではありますが、化学肥料の2割低減を実現するための取組メニューの中から2つ以上を実施する農家に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援する事業が始まりました。

近年では、肥料や堆肥を使用する際、ペレット状のものが使い勝手がよく、散布時間の短縮にも繋がることから、国も使用の推進を始めています。

鹿児島県経済連においては、堆肥と化学肥料とを混合した肥料（ペレット状）の生産に取り組まれ、茶用2種類、園芸用1種類が販売されていますが、価格がやや高いと感じます。

そこで、本市においては、有機センターを保有していることから、牛糞・豚糞及び鶏糞を活用し、安価なペレット状の堆肥の製造に取り組んでいただきたい。

また、有機センターにおいて、市内で発生する家畜排泄物をこれまで以上に再利用していただくことで、世界中で取り組んでいる持続可能な開発目標（SDGs）の取組にも貢献できると考えます。

4. 新規就農者に対する支援について

昨今では、新規就農をされる方は、本市においても貴重な人材と考えております。

この貴重な人材を今後の担い手として活躍していただけるように、関係機関と密に連絡をとり、早い段階で経営安定を図り、青色申告まで行えるよう支援していただきたい。

なぜなら、過去を振り返ると、口蹄疫や鳥インフルエンザ、豚コレラ等の家畜伝染病感染による減収や、異常気象等による農作物の販売価格の下落による減収があり、農家にとっては不安定な経済状況に立たされています。

そのため、共済組合等が取り扱う「収入保険制度」がとても重要と考えます。しかし、この制度に加入するには、まず確定申告の際に「青色申告」をしている必要があります。基準となる収入を見るため、青色申告を5年間継続して行っている農家が対象というのが基本ですが、青色申告の実績が1年分しかない場合でも加入はできるようになっているため、市や県の関係機関の支援が大変重要であると考えます。

5. その他

これまでに要望した、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の畜産に関する防疫対策、また山林を再造林する際の緩衝地を設けること等については、継続した取組を要望します。

また、本市の農畜産物の流通を加速させるためにも、都城末吉道路及び曾於志布志道路の早期完成はもちろんです。大隅南地区へのスマートインターチェンジの設置についても国や県へ要望していただきたい。